

ドイツ・マール工場における火災について

2012年4月5日

- 火災による死者 2 名
- 今後の供給に影響
- 特にポリアミド 12 や C12 モノマーへの影響大

内藤 吾朗
コミュニケーションズ
T +81-3-5323-7391
F +81-3-5323-7399
goro.naito@evonik.com

エボニック インダストリーズ AG(ドイツ・エッセン)が所有し、マール・ケミカルパークにある CDT (シクロドデカトリエン)製造工場において、現地時間 3 月 31 日(土曜日)の 13 時 40 分に現地従業員 2 名が死亡する火災事故が発生しました。現在、現地では地元当局による調査がおこなわれており、当社もその調査に最大限の協力をおこなうとともに、社内でも外部の専門家を中心とした独自の事故調査チームを設立し、原因究明を図ります。

CDT(シクロドデカトリエン)はプラスチックの製造に使用される原料です。また CDT はポリアミド 12(PA 12)のモノマーであるラウロラクタムを製造するのにも使われます。今回の事故により VESTAMID®、VESTAMELT®、VESTOSINT®、VESTENAMER®といった製品群の供給に影響が出ることになります。PA12 より作られるプラスチックは自動車産業や太陽光事業、また外洋パイプラインなどに使われるとともに、スポーツ製品や家庭用品にも使用されています。PA12 製造ではエボニックは世界的なリーダーの 1 社です。

現時点における被害状況の詳細は不明ですが、CDT ベースの製品供給に大きな影響が出ると予想される中、お客様には VESTAMID®Terra などといった代替品の提供なども含めたできる限りのソリューションを提供します。このようなバイオベースのポリマーを PA12 同様のアプリケーションに適用することは可能だと考えられます。一方当社としてはすでに早期再開に向けてあらゆる必要な作業を急ピッチでおこなっています。

今回の事故に関して、当社の非ラウロラクタムベースのハイパフォーマンスポリマーに関しては一切影響はありません。影響を受けない製品群は:TROGAMID®(PA 6-3-T モルディングコンパウンド)、VESTAMID® HTplus(ポリフタルアミド)、VESTODUR®(ポリブチレン・テレフタレート樹脂)、VESTORAN®(ポリフェニレン・エーテル樹脂)、そして VESTAKEEP®PEEK(ポリエーテルエーテルケトン樹脂)などです。

(このリリースは 4 月 4 日にドイツでリリースされたものの翻訳です)

エボニック インダストリーズについて

ドイツのクリエイティブな産業グループであるエボニックは、スペシャルティケミカルの世界的リーダーです。私たちの活動はヘルス・ニュートリション、エネルギー効率化、グローバルイノベーションといった世界のメガトレンドに集中しており、企業の有益な成長と企業価値の増大は私たちが目指す戦略の大事な根幹となります。エボニックは革新的なプロセスと統合的な技術プラットフォームを強みとしています。

**エボニック デグサ ジャパン
株式会社**
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2011年度は33,000人以上の社員を有し、総売上高は145億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は28億ユーロを計上しました。

2012年4月5日

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

内藤 吾朗
コミュニケーションズ
T +81-3-5323-7391
F +81-3-5323-7399
goro.naito@evonik.com

**エボニック デグサ ジャパン
株式会社**
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス 12F

www.evonik.jp